

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (静岡県と世界を繋ぐマイプロジェクトコース)		訪問国	英国	
学校名	静岡県立韮山高等学校	氏名	北村祐介	学年	2年

探究テーマ：石文化の発達したイギリスで保全の取り組みから伊豆石文化の  
保全・継承の在り方を探る

## 1. 探究の背景・理由

私は以前から部活動で「伊豆石」というものを研究してきた。伊豆石というのは伊豆半島で採れる石の総称で、かつては江戸城の石垣などに使われたうえ、伊豆半島の周辺で、石蔵や塀など人々の生活に密着して使われてきた。私も実際にミカンの保管に使われている石蔵を見学させていただいたことがある。しかし、伊豆石は外国の石材などとの競争や時代の流れで採掘されなくなってしまい、解体される建物も多くある。このままでは、伊豆石の文化は失われてしまう。そこで、現在も石の建造物が多くあるイギリスのオックスフォードに行って、そこで  
の保全の仕方を学び伊豆石の現状をかえるために留学をした。

## 2. 探究活動

留学前に伊豆石の保全・研究に実際に関わっている方からお話を伺い、講演会に参加した。そこから、伊豆石の問題点について考えた。伊豆石の問題点としては、修繕・維持には費用がかかり、多くが民間所有の小規模な建造物であり、一括した管理が難しいことなどがあるが、最も問題なのは圧倒的な知名度の低さだろう。



ブレナム宮殿の大屋根



コッツウォルズ地区の街並み

実際に留学中におこなっ

た活動は建物の見学と現地の人へのインタビューである。世界遺産で修繕中であるブレナム宮殿というところでは、普段は登れないような修繕中の大屋根に登ることができるようになっており、修繕の方法、費用、スケジュール、意義などが詳細に発信されていた。修繕中である部分が見えるようになっていところ、修繕中ということ逆を活かして普段とは違う部分が見えるようにしているところに驚いた。コッツウォルズ地区では民家の多くが石造りであることに驚かされた。日本と大きく違うところは近くで石を採掘して身近く日本よりは石が手軽であること、石の建造物が長く持つように作られていること、石の建造物に対する意識が違うことなどが挙げられる。また、石の建造物と自然が一体となっている一方で、公共交通機関の便が悪く、車が多すぎると感じた。観光地とするには、観光資源だけでなく、交通、自然など様々な面での“雰囲気づくり”が重要だと考えられる。留学中に他に感じた点はオックスフォード

にいる人の多くは石の保全、街並みに肯定的考えを持っている点だ。カーファックスタワー（下の写真）で働いている方は建物を昔のまま保存することで、昔の生活を実感することができ、そうして歴史を伝えられるとおっしゃっていた。また、オックスフォードには石を建物前面だけや窓枠だけなど部分的に使用する例も見られた。

これらから、伊豆石に必要な活動を考えた。1つ目は、伊豆に住む多くの人が伊豆石を知らないので、地元の人を中心に伊豆石を広めて保全をしようという雰囲気をつくることだ。2つ目は、伊豆石を建造物全体でなくとも部分的な使用を推進すること、3つ目は保全や修復の活動自体も積極的に発信していくことである。これらから伊豆石を新たな観光資源することを目指す。



授業でのプレゼンテーション



カーファックスタワー



クラスメイトと

### 3. 留学の感想等

私は、オックスフォードで3週間、語学学校に通いながら留学した。そのなかで、感じたこと、学んだことについて述べる。留学をする上でやはり欠かせないものは人とのコミュニケーションだとこの留学で実感した。私の場合、浅く広くという感じだったのだが、いろいろな人と交流することができて楽しかった。語学学校のクラスで一緒にディナーを食べたり、語学学校の人とサッカーをしたり、いろいろな経験をした一方で、自分と改めて向き合うきっかけにもなった。私は人と仲良くなるのが得意な方ではないが、今回の留学で改めて少し意識的に自分からかわりを作ることが大切だと気付かされた。留学を通して、さらに留学に挑戦していき、海外で活躍したいという気持ちはとても強くなったと感じる。また、今回の留学で建築学を学びたいという気持ちが強くなった。具体的には、長く使用でき、修復できる建造物に興味があるので、大学ではこれに関連した留学ができればよいと考えている。

エヴァンジェリスト活動として、自分の高校で留学に関するプレゼンテーションを高校生の視点として行い、アンケートによるフィードバックを得た。留学に興味がある（「少しある」も含む）回答は過半数を占めていたが、実際に海外に行きたいと答えた人は4割未満であった。実際に留学をする様々なハードルを下げることの必要性を感じたが、留学に行きたくなったという意見も多くあったので、実際に留学に行った高校生として、丁寧に留学の良さを伝えていくことは有意義で効果のある事だと感じた。これからも留学の良さ、伊豆石の魅力を伝える活動を行っていきたい。